参加機関・団体取組状況一覧

機関等名	取　　組
鳥取県	平成25年に「鳥取県バイシクルタウン構想」（平成25～32年度）を策定し、自転車とクルマが対等な交通手段として子どもから高齢者まで安全・安心で快適に走行できる自転車先進県をめざし、関係部局と役割分担を行いながら、道路整備、地域・観光振興、交通安全、健康増進など幅広い分野で施策を展開している。 ＜道路整備＞ ・「鳥取県県道の構造の技術的基準等に関する条例」（H25.4.1施行）に基づく新規県道の路肩幅員拡張（36箇所で実施） ＜地域・観光振興＞ ・弓ヶ浜サイクリングコースの整備 ・サイクリングルートへの路面標示（国道9号線を活用した東西横断ルートを設定予定） ・愛媛から大山に至るサイクリングルートの活用及び県東部への延伸を推進 ・県内コンビニのサイクルポート、UDタクシー積載などのサポート体制を整備 ＜交通安全＞ ・「鳥取県支え愛交通安全条例支え愛条例」（H28.10.14施行）に基づくヘルメット着用・賠償保険加入の推進 ・中高校生を対象にヘルメット購入に対する補助を実施 ＜健康増進＞ ・自転車通勤にチャレンジする者を公募し支援する取組を実施 https://www.pref.tottori.lg.jp/221574.htm
岡山県	【新エネルギー・温暖化対策室】 〇集中管理自転車の整備・利用促進 平成25年度から、県職員の環境に配慮した行動を推進するため、自転車を集中管理し、貸出を行っている。 台数：7台　利用実績：1,062回（平成29年度） 〇アースキーパーメンバーシップ制度 地球温暖化防止のため、地球にやさしい生活に取組む人たちを、地球（アース）を守る人（キーパー）として会員登録（県民版・事業所版）する「アースキーパーメンバーシップ制度」を運営している。県民版の4つの共通取組項目の1つとして、「緩やかな加速など、加減速の少ないエコドライブを心がけ、近い距離は歩くか自転車を使う」を掲げている。 会員数：平成31年3月7日時点　県民版11,789会員 https://earth-keeper-okayama.jp/
広島県	【地域政策局スポーツ推進課】 ・第2期広島県スポーツ推進計画（平成31年3月策定予定）において，徒歩，自転車等のスポーツを通じた環境に配慮した社会づくりについて記載 【土木建築局道路企画課】 ・走行環境を整えるまちづくり，スポーツと健康の増進における自転車活用，サイクルツーリズムの推進，及び自転車の交通安全等について，本県の関係計画を基に総合的に推進し，豊かで活力ある地域づくりに向けて取り組む広島県自転車活用推進計画（素案）を策定し，平成31年2月22日（金）から平成31年3月22日（金）まで県民意見募集（パブリックコメント）を実施。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/97/bicycle-publiccomment.html
山口県	・通勤や買い物時の身近な交通手段を自動車等から自転車に転換することが地球温暖化対策に効果が高いと考え、平成30年度からサイクール・ライフプロジェクトを実施 ・具体的には、スマートフォンのGPS機能を用い、自転車での移動距離を自動計測し、CO2削減効果をリアルタイムで「見える化」するアプリを構築・運用 ・アプリ利用者：1,376人（平成31年3月5日現在） CO2削減量：約14.5t-CO2(平成31年3月5日現在)　※ガソリン6,200ℓ相当 詳細は別紙1参照 http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15500/buchieco/cycoole.html

香川県	【くらし安全安心課】 平成30年4月1日に「香川県自転車の安全利用に関する条例」を施行し、自転車の交通ルールの遵守、自転車の点検整備、ヘルメットの着用促進、自転車保険等への加入促進等に係る施策を推進 　※各施策については、HPに掲載 https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/subsite/jitennsyajourei/index.shtml
	【観光振興課】 〇小豆島一周サイクリングルート設定 ・サイクリングマップ作成 ・サイクルオアシス整備（サイクルスタンド、空気入れ等設置） 〇香川県基幹ルート設定 ・基幹ルートサイクリングマップ作成 ・サイクルオアシス整備（サイクルスタンド、空気入れ等設置） 〇基幹ルートに接続する地域ルート4ルートを設定 詳細は別添2参照 https://www.my-kagawa.jp/pamphlet
	【道路課】 ・高松市自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間整備 →（参考1）県道初 県道高松香川線に自転車走行指導帯を設置します https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir7/dir7_4/dir7_4_2/wlj8lt160331130440.shtml ・サイクリングルートの整備 →（参考2）小豆島を一周するサイクリングルートの整備が完了しました。 https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir7/dir7_4/dir7_4_1/wk0f8p180509084548.shtml →（参考3）香川県サイクリング地域ルートを設定しました https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir7/dir7_4/dir7_4_1/w6h14l190215132211.shtml →（参考4）県内初　四国一周サイクリング路面案内ピクトの整備を開始します! http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/press/19_01_30_1/index.html
	【警察本部交通企画課】 「かがわスマートサイクリスト運動」の推進 自転車利用者の立場から、他の道路利用者に対するおもいやりの心を持ち、自律的に正しい交通ルールやマナーを守り、安全運転を実践する模範的な自転車利用者を育てることにより、良好な交通秩序と交通事故の防止を目指すもの。 　本運動への参加を希望する個人、事業所、学校等から宣言文等の提出を受け、宣言者等にスマートサイクリストステッカー及び自転車安全運転利用五則を記載したリーフレット等を手交する。 　※参加状況（平成31年３月１日現在 スマートサイクリスト（個人参加）18,394人 自転車通行マナーアップモデル事業所60団体7,137人 自転車通行マナーアップモデルスクール32校19,036人
	【警察本部交通規制課】 〇　自転車道等の整備 道路管理者と連携の上、自転車と自動車を構造的に分離する自転車道（市道五番町西宝線）を整備したほか、「普通自転車歩道通行可」の歩道における自転車と歩行者の安全な通行を確保するため、「普通自転車の歩道通行部分」の指定（中央通り等）を行うなど、自転車の通行環境の整備を進めている
高知県	「ぐるっと高知サイクリングロード』で大自然を満喫」別紙3参照
益田市	東京2020大会のアイルランド自転車競技チーム事前キャンプ誘致を契機とし、市内の恵まれた自転車環境を活かした『自転車によるまちづくり』を推進。 ・市民が気軽に参加できるサイクリングイベントや自転車体験教室、講演会等の開催 ・益田市サイクリスト誘客協力宣言企業の推進 ・地方創生応援税制寄付金を活用したサイクリストおもてなし事業 （道路案内サインの設置、サイクルスタンドの製作、サイクリングマップの作成） ・一般社団法人自転車協会モデル事業を活用したサイクリストおもてなし事業 （インフルエンサーによる情報発信） ・益田市自転車活用推進計画（仮称）の策定（予定） 詳細は別紙4参照 https://www.city.masuda.lg.jp/soshiki/187/

岡山市	岡山市は気候が温暖で起伏の少ない平坦な地形が多く，自転車に適した街です そこで，誰もが自転車を“安全”で“便利”に“楽しく”使うことが出来る街を目指した「自転車先進都市おかやま」を実現するため、自転車施策を総合的に推進する「自転車先進都市おかやま実行戦略」を策定しています。 「自転車先進都市おかやま実行戦略」は，自転車の利活用環境等を「走る」「停める」「使う」「楽しむ」「学ぶ」の5つの施策分野に区分し，自転車の走行空間や駐輪場の整備，コミュニティサイクルの運用，サイクリングロードの活用，自転車のルールやマナーの啓発などに取り組んでいます。 （コミュニティサイクル詳細は別紙5参照） URL　http://www.city.okayama.jp/toshi/gairokoutsuu/gairokoutsuu_t00007.html
とっとりサイクルツーリズムの会	おはようサイクリング開催（4～10月、毎土曜午前7～9時） 各種サイクリング実施（ミニクライムヒル、サイクルピクニック、BQQサイクル） 自転車安全教室（法規、体測定と自転車基本寸法、点検、パンク修理、輪行紹介） 鳥取東部のサイクリングマップ制作・配布 （課題など） スポーツサイクルのブームで各種イベントの参加者は一定数ありますが、自転車の普及拡大につながる初心者やライトサイクリストの増加が少なく、イベントの工夫、PRが課題になっています。 詳細は別紙6参照 http://tottoricycletouris.wixsite.com/tct-assosiaition
自転車さんぽ実行委員会	ある一定のエリア内を、自転車を用いたクイズサイクリング（オリエンテーリングのサイクリング版）によって巡ってもらい、その地域の自然風景と、周辺の生活風景（田畑・果樹栽培地・集落風景・水環境）の魅力を参加者に再発見してもらう。 電動アシスト自転車やイベント用のスポーツ自転車を含むレンタサイクルを用意する。サイクリングは、国土地理院の1/25000地形図をベースとしたマップにクイズポイントを26箇所（A～Z）指定し、参加者は自分自身でルートを判断して道路交通法を守って走行し、指定時間内（3時間以内を目安とする）に8箇所以上のクイズポイントの正解をそれぞれの現場で発見して回答する。その結果、訪問者数の少ないポイントを当てて正解した参加者が高ポイントとなるよう採点、順位付けを行う。 　イベントの実施によって… ① クイズポイントの設定箇所の工夫によるルート上の魅力的な風景の体験 ②多彩な表彰による地場産品（特に地元の風土を活かした一次産品やその加工食品）の提供、③観光行動および日常生活における電動アシスト自転車のインフラとしてのポテンシャルの再評価 ④既存の観光名所とは異なる、生活資産が有する新たな観光資源としての価値の発掘 この4つの狙いを実現し、さらに参加者アンケートの結果分析をふまえて、今後のその周辺エリアにおける着地型観光のシーズ（種）の掘り起こしとインフラの整備につなげるアイディアを整理する。 　その前段として、関連イベントを実施する。その会場でこのイベントに因んだ催し物やゲーム、今イベント専用のスポーツ自転車の展示も行う。「自転車さんぽ」をより楽しんでいただくためにこのサイクリングイベントの魅力を伝えていく。 http://www.jitensyasanpo.com/
岡山県サイクリング協会	（活動内容） JCA＝「（公益財団法人）日本サイクリング協会」と提携して、サイクリングの普及活動をしています。 〇正しいサイクリングの普及を図るため、年間数件のサイクリングイベントを計画・実施しています。交通ルールを守り、安全で楽しいサイクリングを目指します。 〇サイクリング全般の相談窓口 各種団体のサイクリング計画や実行役員の支援活動を行っています。 〇タンデム自転車（２人乗り）の試乗会と一般道路の走行解禁への取組 （今後の課題） 〇自転車教室（スポーツサイクルの乗車・走行技術の向上）などへの講師派遣 〇サイクリング推奨コースへの提言活動 〇サイクルツーリズムへの協力支援活動 http://www.okca.jp

岡山県自転車軽自動車商協同組合	・自転車防犯登録 ・TSマークの推進 ・安全点検【店舗型（各店舗）・拠点型（学校や街頭など）・講習会】 ・レンタサイクルやコミュニティサイクル「ももちゃり」、リサイクル事業など 　岡山市への行政協力（自転車組合岡山支部として） ・県から委嘱のサイクルアドバイザーとしての交通指導や啓蒙活動 ・サイクリング活動（県内数箇所にて毎月おはようサイクリングを実施） 　年に一度、おはようサイクリング県民大会を実施（参加者は100名ほど） URL　http://www.cyclenet-okayama.com/
特定非営利活動法人 公共の交通ラクダ	公共の交通RACDA の歩いて楽しい都心と郊外の交通まちづくり戦略 ～自動車中心の道路づくりから、人中心のみちづくりへ～ （都市圏の交通分担率2030年の目標） 私たちは、歩いて楽しいまちづくりを目指しています。そのためには、都市圏レベルでの交通の分担率を15%と現在の3倍にし、徒歩や自転車、小型EVバイクの分担率を35%程度に拡充させる必要があります。 （世界一の自転車先進都市を目指そう） 道路空間の再配分により、自転車道をきっちり整備して、自転車と歩行者の安全を共に図る。 駐輪場を道路上も含めて計画的に整備し、自転車を積極活用する。 レンタル自転車（ももちゃり等）をまちなか等に整備し、加えて、より多くの人が、より多くの場所を巡り、より長く滞在したくなる、安全で、回遊性が高く、魅力と賑わいにあふれた都心の実現を図る。
安田金属株式会社	①平成21年末に設備改善の一環として屋根・囲い・転倒防止用ガイドレール・ソーラー照明付の駐輪場（従来は露天の空ｽﾍﾟｰｽ駐輪で、雨に濡れる・風で倒れる・暗くて鍵が差せない等の不便の解消）の整備を行った。 加えて社員駐車場として借りていた土地をお返しする事となり、駐車場ｽﾍﾟｰｽの効率化の必要に迫られる。 同時期に当社が加入をしている「ｳｪｽﾄｸﾞﾘｰﾝﾈｯﾄ」様を通してﾊﾞｲｸﾋﾞｽﾞのご案内を頂き、新しく制度を作成し、同認定を受けた。 ②平成22年に「ﾊﾞｲｸﾋﾞｽﾞ通勤奨励一時金制度」を発足し、二輪車通勤対象者に一時金を付与した。 当社が準工業地帯にあり場所的に距離がある事、住宅地が山手にあること、自家用車よりバイクの方がCO2発生量が少ないことから、ﾊﾞｲｸ通勤者も対象とした。また公平性の立場からすでに二輪車通勤者も減額の上で一時金支給の対象とした。 通勤者76名に対し、13名、21万円の支給を行った。 （内、4名は自家用車から二輪車通勤に切り替えた） 認定後は地元テレビ局の取材もあった。 ③一時金の支給は翌平成23年まで行った。 ④現在は一時金の支給は行っていないが、通勤者70名に対し、二輪車通勤は18名（内自転車通勤は11名）と導入当初と同じ水準を保っている。 詳細は別紙7参照 http://www.yasudaeco.co.jp

ウエストグリーンネット（WGN）	「ウエストグリーンネット（WGN）の2009年～現在までの取り組みと状況」 1.2009年。環境省メディア連携事業「バイクルネッサンス運動」をTSSテレビと連携して実践。 WGNのコンセプト：環境とかCO2削減等を前面に出さず、 自転車を「おしゃれに、楽しく、ファッション性に優れたライフスタイル」として流行らせる事。 その活動と対象：「おしゃれに自転車の練り走り（通勤・休日）」で、 学校卒業と共に自転車を卒業した人々（女性・中高年齢層）に自転車利用再開。 2.WGN会員企業（安田金属㈱）において、通勤用自転車駐輪場を建設。 3.2019年。その後、 ①各会員企業においては任意な取り組みとして、着実に個人レベルで自転車使用が増加。 2009年の「バイクルネッサンス運動」を契機に、自転車再開した人はそのまま、自然に継続中。 ②ターゲットとして定めた対象（主婦ママチャリ・学生以外の「女性、中高年齢層」）が、広島市内の本通り近辺等の街中でも、確実におしゃれな自転車ロードバイク・クロスバイク・ミニベロ等）に乗っている姿が増加した。街道にも高齢者サイクリストが明らかに増加している。2009年の目標であった「おしゃれに、楽しく、ファッション性に優れたライフスタイル」は流行し、定着化しつつあると思っている。
株式会社ツバメ・イータイム	■株式会社ツバメ・イータイムとは 『世界的なCO2問題の解消』と『地方から新しいビジネスモデルをつくる』ことを目的に2014年5月に設立した会社です。EV電動車両の世界的な普及を通じて、深刻化する地球環境問題を少しでも改善したいと考えております。ガソリンのいらない100％電気で走る電動バイクを主力製品とし、日本国内はもとよりベトナム、韓国、など海外展開も行っております。近年は電動アシスト自転車もラインナップに加え展開しております。 http://e-time.tsubame-group.co.jp/ ■取組内容 ・山口県周防大島において、山口県認定サイクルステーションのひとつ竜崎温泉と連携し、2018年8月より電動アシスト自転車のレンタルサービスを開始。 URL　http://www.suouoshima.com/access.html ・山口県環境生活部環境政策課を中心に、EV利活用モニター事業プロジェクトチームを開始。 2017年、2018年の２年間に渡り山口県内の事業所や団体にEV車両（電気自動車・電動バイク）のモニター事業を展開。来年度は電動アシスト自転車をモニター車両として追加することで進めている。 https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/201807/040829.html
一般社団法人Spedagi Japan	・地域でのサスティナブルなモノづくり、コトづくりを目指して、インドネシアのSpedagi（スペタギ）と連携して。山口の阿東地域と東京八王子・奥多摩地区とでそれぞれ竹の自転車と子供向けのキックバイクを開発しています。 現在それぞれの試作モデルを制作し、地域を巡るサイクルツアー等のActivityイベントを始めています。 ・ホームページとFacebookでの上記活動の紹介 詳細は別紙8参照 http://www.spedagijapan.com